学校番号	112

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書　Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・これまで学んできた正しく整えて書く字以外に、芸術的に美しい字や味のある字があることを知り、書に関する感性の幅を広げることができるように様々な試みを行います。
・基本的な書写能力を向上させ、自分の意図する表現ができるようになることを目指します。
・文字文化の成り立ちや歴史的な背景を学習し、様々な古典作品を鑑賞しながら、書の伝統文化について理解を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関われる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1)　書の表現の方法や形式、多様性などについて、幅広く理解するとともに書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
2)　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
3)　主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式、書表現の多様性について、幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ガイダンス	・書写と書道について ・文房四宝(紙、筆、墨、硯)について ・書体の変遷について	a:書写と書道の違い、文房四宝や書体の変遷について理解している。 a:用具用材の特性について理解している。 c:書の伝統と文化に関心をもって主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート		ワークシート
	漢字の書	楷書 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・顔氏家廟碑 ・牛橛造像記 ・書風の異なる古典を臨書し、違いを学び、技術を習得する ・作品制作(半切1/2)	a:各古典による用筆法の違いを理解し、作品を効果的に表現する為に必要な技能を身につけている。 a:書体と書風の用筆運筆の関りについて理解を深めている。 b:漢字の書における線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。 c:書風の違う楷書に関心を持ち、美の有り方の違いについて知り、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	観察 作品 ワークシート	観察 作品 相互批評	観察 作品 ワークシート 振り返りシート
	篆刻	篆刻 ・自分の名前の篆書体を調べる ・字典の使い方を覚える ・姓名印の制作(8分、3分) ・印稿作成 ・印の彫り方を学ぶ ・押印	a:印・篆書体に興味を持ち、篆書体の用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 a:篆書体の用筆法、字形、構成を理解している。 b:布字の仕方を理解し、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。 a:印刀の使い方を理解し、その技術を身に付けている。 c:様々な印を鑑賞し、その良さや味わいを主体的に自分の印に取り組もうとしている。	観察 作品 ワークシート	観察 作品 相互批評	観察 作品 ワークシート 振り返りシート

2学期	行書の学習	行書 ・書風の違う古典の臨書 ・蘭亭序 ・風信帖 ・作品制作(半切1/2) ・蜀素帖 ・争座位稿 ・自作印を押印	a:行書の成り立ち、用筆・運筆法を理解し、作品を効果的に表現する為に必要な技能を身に付けている。 b:各作品の背景を理解し、その表現方法の違いに関心を持ち、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。 c：各古典の特徴をよく理解し、主体的に行書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	観察 作品 ワークシート	観察 作品 相互批評	観察 作品 ワークシート 振り返りシート
	仮名の学習	仮名の成り立ちと用筆法 ・いろは 連綿 ・高野切三種の臨書 ・短冊 ・押印	a:仮名の成り立ちについて理解している。 a:線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解し、基本的な用筆、運筆の技能を身に付けている。 b:仮名の書体や書風に即した用筆・運筆、字形全体の構成について構想し工夫している。 c:仮名の特徴をよく理解し、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	観察 作品 ワークシート	観察 作品 相互批評	観察 作品 ワークシート 振り返りシート
3学期	隷書の学習	隷書の成り立ちと用筆法 ・用筆法 ・結構 ・曹全碑 ・作品制作(半切1/2) ・押印	a:隷書の成り立ちについて理解している。 a:隷書の特徴的な逆筆や波磔などの用筆法について理解し、身に付け表現している。 b:隷書の書体や書風に即した用筆・運筆、字形全体の構成について構想し工夫している。 c:隷書の特徴をよく理解し、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている	観察 作品 ワークシート	観察 作品 相互批評	観察 作品 ワークシート 振り返りシート

	漢字の創作	・作品制作(半切) ・書体を選ぶ(楷行草篆隷) ・草稿作成 ・作品作り ・押印 ・作品発表、相互批評	a:作品を効果的に表現するための用筆・運筆・線質・字形や構成をいかした表現方法や技能を身に付けている。 b:漢字の書における線質・字形・構成等の要素と表現効果や風趣との関りについて、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。 c:書の創作活動の喜びを味わい、又互いの作品を鑑賞し、その良さや美しさを味わい、自分の創作活動に取り組もうとしている。	観察 作品 ワークシート	観察 作品 相互批評	観察 作品 ワークシート 振り返りシート
	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書の作品制作 ・語句の決定 ・文字、全体構成のデザイン ・草稿作成 ・作品制作 ・押印 ・作品発表、相互批評	a:用具用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆の関わりについて理解する。 a:漢字と仮名の調和した線質、字形による表現の技能を身に付けている。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体構成、意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品の書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	観察 作品 ワークシート	観察 作品 相互批評	観察 作品 ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度